

FREED+

フリード+のラゲッジスペースは、「ユーザーが自分で使い道を自由に考えられる」ことをテーマに設計。極限まで無駄な部分を削り取り、隅々まで自在に使える空間を確保しました。また、開口部の地上高を335mm*まで下げたことにより、重たい荷物が積みやすく、背の高い荷物も乗せられます。*FF。

超低床化により、広大な荷室容積を確保。

先代フリード スパイクに比べて-185mm*1の超低床化を実現した荷室は、フロアが低く、フラットで隅々までスクエアな形状のため、26インチの自転車を2台積載できる*2など、さまざまなモノを自在に積むことができます。*1 FF。*2 自転車の形状、サイズ等によっては積めない場合があります。

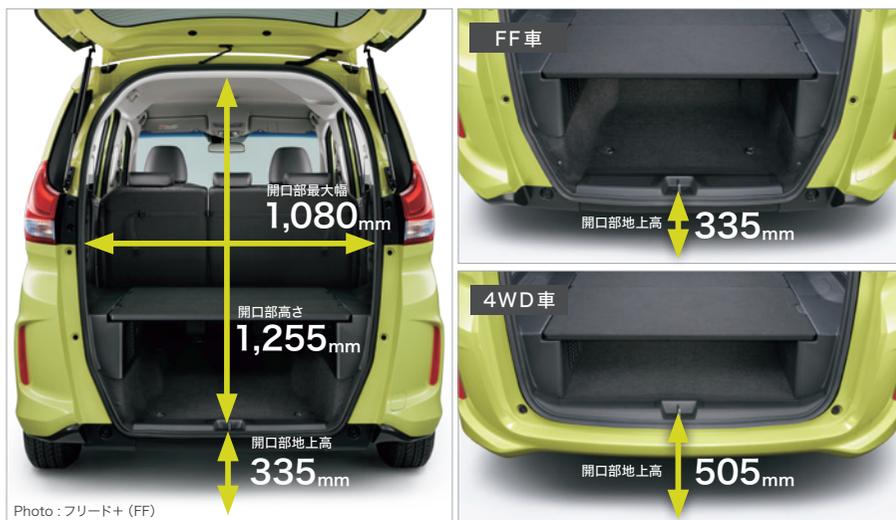


Photo : フリード+ (FF)

使い方自在のナットにより、荷室をカスタマイズ。

荷室左右のサイドライニングにそれぞれ10カ所、M6ボルトを取り付けられるナットを設定。荷室を自在にカスタマイズできるほか、ディーラーオプションのスライドレールシステムやユーティリティフックなどを取り付けられます。



快適な車中泊が可能なフラット空間。

前席を前にスライドして後席を畳み、シートバックボードをセットすることで、大人2人がゆったりとくつろげるフラットスペースが出現。快適な車中泊を楽しむことができます。



荷物を分けて置けるアンダーラゲッジスペース。

広大なラゲッジスペースは荷室用ユーティリティボードで2段に分割することが可能。汚れものを分けて収納するなど、自由な使い方ができます。

